

## 第3章 計画の方向性

- 3-1. 目指すべき環境像
- 3-2. 基本方針と基本目標
- 3-3. 計画の体系

## 第3章 計画の方向性

### 3-1. 目指すべき環境像

本市の目指すべき環境像は、第2次北秋田市総合計画の将来都市像の実現に向けた、環境・都市基盤分野の基本理念と同様とし、以下のとおり設定します。

「自然を愛し 環境をととのえる 美しいまちづくり」

自然環境の保全や循環型社会の構築は、現在の私達だけでなく次世代を生きる子ども達にとっても重要です。本市の恵まれた自然環境を後世に引き継ぐため、森林・河川環境の保全に努めるとともに、リサイクル体制の確立や省エネ・再生可能エネルギーの推進などを通じ、環境問題に対応します。また、快適な都市環境を整備するため、公共交通、道路、公園、上下水道などの都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化に努めます。

### 3-2. 基本方針と基本目標

本計画の目指すべき環境像を実現するためには、様々な環境課題に取り組んでいく必要があります。本計画では、北秋田市環境基本条例第7条に規定されている基本方針に基づき、次の4つの基本目標を掲げます。

基本目標1. 健康で安心して暮らせる住みよいまち

基本目標2. 豊かな自然と共生し未来につなげるまち

基本目標3. 資源を大切に環境をまもるまち

基本目標4. みんなで環境について考え行動するまち

#### 北秋田市環境基本条例

(施策の基本方針)

第7条 市は、環境の保全及び創造に関する施策の策定及び実施に当たっては、基本理念にのっとり、次に掲げる事項の確保を旨として、施策相互の有機的な連携を図りつつ、これを総合的かつ計画的に行うものとする。

- (1) 人の健康が保護され、及び生活環境が保全され、並びに自然環境が適正に保全されるよう、大気、水、土壌その他の環境の自然的構成要素が良好な状態に保持されること。
- (2) 生態系の多様性の確保、野生生物の種の保存その他の生物の多様性の確保が図られるとともに、森林、農地、水辺地等における多様な自然環境の保全を図ることにより、人と自然との豊かな触れ合いが確保されること。
- (3) 廃棄物の減量、資源の循環的な利用及びエネルギーの適切かつ有効な利用を推進し環境への負荷の少ない循環型社会を構築するとともに、地球環境保全に貢献すること。
- (4) 環境の保全及び創造を推進するため、市、事業者及び市民が協働することができる社会を形成すること。

また、本計画の目指すべき環境像を実現するために、4つの基本目標に対応する数値目標を以下のとおり設定します。

目標値については、本計画に基づく施策の展開によって、市民の環境に対する意識がどの程度変化したかを確認するため、肯定的な意識が80%を下回っている対象があった項目については、80%以上にするを基本条件としました。ただし、肯定的な意識について、対象者がいずれも50%を下回っている項目については、まずは50%以上にするを目標としています。なお、80%を上回っている項目についても、現状以上の意識の向上を目指します。

#### 基本目標1. 健康で安心して暮らせる住みよいまち

目標	現在 H28 アンケート実施	5年後目標値 H33年アンケート予定
不法投棄はみられないの「そう思う」「少し思う」の割合	市民：66% 中学生：85% 事業者：69%	80%以上
タバコやごみの捨て方などのマナーは守られているの「そう思う」「少し思う」の割合	市民：68% 中学生：67% 事業者：68%	80%以上
ごみは散乱しておらず清潔であるの「そう思う」「少し思う」の割合	市民：77% 中学生：84% 事業者：83%	80%以上

#### 基本目標2. 豊かな自然と共生し未来につなげるまち

目標	現在 H28 アンケート実施	5年後目標値 H33年アンケート予定
水と触れ合う場が多いの「そう思う」「少し思う」の割合	市民：48% 中学生：84% 事業者：66%	80%以上

## 基本目標3. 資源を大切に環境をまもるまち

目標	現在 H28 アンケート実施	5年後目標値 H33年アンケート予定
買い物袋（マイバック）を持参したりして、レジ袋を貰わないようにしているの「いつもしている」「たまにしている」の割合	市民：84% 中学生：71%	80%以上
購入の際は、ごみが出にくいような商品や、壊れにくく長持ちする商品を選ぶの「いつもしている」「たまにしている」の割合	市民：74% 中学生：76%	80%以上
フリーマーケットやリサイクルショップを利用しているの「いつもしている」「たまにしている」の割合	市民：34% 中学生：43%	50%以上
飲料びんはリターナブルびんを使用するなど再利用しているの「いつもしている」「たまにしている」の割合	市民：63% 中学生：45%	80%以上
小電回収ボックスを活用しているの「いつもしている」「たまにしている」の割合	市民：43% 中学生：24%	50%以上
自宅周辺の美化を保つために清掃活動をしているの「実行している」の割合	市民：63% 中学生：41%	市民：82% 中学生：81% ※「今後実行したい」の割合増加分
冷暖房の温度を適温にするなど節電を心がけているの「実行している」の割合	市民：85% 中学生：76%	市民：94% 中学生：91% ※「今後実行したい」の割合増加分
歯みがきや食器洗いなどの際は節水を心がけているの「実行している」の割合	市民：71% 中学生：78%	市民：87% 中学生：91% ※「今後実行したい」の割合増加分
電化製品などの購入の際は省エネを意識して購入しているの「実行している」の割合	市民：69% 中学生：42%	市民：89% 中学生：80% ※「今後実行したい」の割合増加分
車のアイドリングストップを実践しているの「実行している」の割合	市民：60%	市民：76% ※「今後実行したい」の割合増加分
なるべく車を使わず、徒歩や公共交通機関を利用している、呼び掛けているの「実行している」の割合	市民：19% 事業者：0%	市民：36% 事業者：67% ※「今後実行したい」の割合増加分

大気、水質、振動、悪臭、騒音などの公害防止対策の「取組んでいる」の割合	事業者：65%	事業者：94% ※「今後実行したい」の割合増加分
リサイクル可能な原材料の使用や、環境負荷ができるだけ小さいものの優先購入の「取組んでいる」の割合	事業者：74%	事業者：94% ※「今後実行したい」の割合増加分
機械や備品に関してできるだけ中古品を購入の「取組んでいる」の割合	事業者：47%	事業者：85% ※「今後実行したい」の割合増加分

※マークの目標値は、アンケートの中で「今後実行したい」と回答した方が、全員実行した場合の割合です。

## 基本目標4. みんなで環境について考え行動するまち

目標	現在 H28 アンケート実施	5年後目標値 H33年アンケート予定
公園や緑地は適正に保全されているの「そう思う」「少し思う」の割合	市民：77% 中学生：89% 事業者：85%	80%以上
伝統的な資源や文化が残っているの「そう思う」「少し思う」の割合	市民：76% 中学生：98% 事業者：86%	80%以上
歴史・文化財などは適切に保全されているの「そう思う」「少し思う」の割合	市民：76% 中学生：94% 事業者：77%	80%以上
街並みが美しいの「そう思う」「少し思う」の割合	市民：38% 中学生：74% 事業者：37%	80%以上
自宅・事業所周辺の美化活動の「取り組んでいる」割合	市民：80% 中学生：58% 事業者：97%	80%以上
北秋田市の環境学習の場や機会についてどのように感じますかの「満足」「やや満足」の割合	市民：76% 中学生：91% 事業者：73%	80%以上
市や民間団体等が主催する環境に関するボランティア活動に参加したことがある割合	市民：38% 中学生：46% 事業者：49%	50%以上

## 3-3. 計画の体系

目指すべき環境像の実現に向けて、次のような体系で環境施策の展開を示します。

目指すべき環境像	基本目標	施策の展開方向	環境分野
「自然を愛し 環境をととのえる 美しいまちづくり」	健康で安心して暮らせる住みよいまち	住環境の充実と公害の防止	生活環境
	豊かな自然と共生し未来につなげるまち	自然の活用と保全	自然環境
	資源を大切にして環境をまもるまち	循環型社会の推進	地球環境・資源循環
	みんなで環境について考え行動するまち	街並みと文化の継承	歴史・文化的環境
		環境パートナーシップの構築	参加行動